

# めぶきニューヨークレポート

## MEBUKI NEW YORK REPORT

2020年 11月号

- ◇ 【調査レポート】深刻化するニューヨーク市の治安悪化・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 1
- ◇ 【NY ライフ】ストーム・キング・アートセンター・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 3
- ◇ 【米国マーケットレポート（10月）】・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 4
- ◇ 【ニューズ一覧】・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 5

常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所  
712 Fifth Avenue 8<sup>th</sup> FL  
TEL : +1-347-686-8420  
E-mail : newyork@joyobank. co. jp

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願い致します。

発行元：常陽銀行市場国際部



## 調査レポート

### － 深刻化するニューヨーク市の治安悪化 －

今回は、深刻化しているニューヨーク（NY）市の治安悪化についてレポート致します。

#### 1. 治安悪化の状況

##### (1) 殺人・銃撃事件の増加

NY市内の治安が悪化しています。NY市警察（NYPD）が公表している犯罪統計によれば、NY市における今年1月から10月11日までの犯罪は、昨年と同じ時期と比べ、殺人は約34%増加、銃撃事件では約90%も増加しています。

|          | 2019年 | 2020年 | 増減率    |
|----------|-------|-------|--------|
| 殺人（件）    | 264   | 354   | +34.1% |
| 銃撃事件（件）  | 633   | 1,204 | +90.2% |
| 銃撃犠牲者（人） | 745   | 1,482 | +98.9% |

（出所：NYPD ホームページ：各年とも年初から10月11日までの累計）

件数増加の原因は、新型コロナに伴う経済状況の悪化で治安も悪化しているということであり、なかでも銃撃事件の増加については、銃そのものの出回っている数が増えているということにあります。大統領選がある年は、次の政権による銃規制の強化を想定し、その前に買っておこうとする思惑により銃の売り上げが増加する傾向にあります。

##### (2) 多発する集団万引き

マンハッタンのソーホー地区では、高級ブランド店を狙った集団による万引きが多発しています。最近では、モンクレールが10月1日に立て続けに2度の被害に遭いました。1回目の犯行は2人組によるもので、20着以上のジャケットが盗まれました。午後6時頃の2回目の犯行では、16～20人の集団により5万ドル以上の商品が盗まれました。

また、9月30日のお昼過ぎには、ウースターストリートにあるセリーヌに3人の男が入店し、3万7,000ドル以上の商品を盗み逃走しました。セリーヌの犯人は、これまで高級ブランド12店で万引きを働いたグループの一員と見られています。

下はソーホー地区の写真です。中がモンクレール、右がセリーヌの店舗です。



### (3) 日本人の被害例

9月5日午前中、マンハッタン南部にあるバッテリーパーク付近の地下鉄車内で、不明瞭な言葉を発する挙動不審の見知らぬ男性から、日本人夫妻が突如暴行を受け軽傷を負いました。日本人夫妻は男性と何度か目が合い「マネー」と言われ暴行を受けました。

また、9月27日の夜7時半頃、日本の著名なジャズピアニストがマンハッタンで地下鉄を降り改札を抜けた後、男女8人が出口をふさぐ様な形で通行を妨害しました。同氏は横を通り抜けようとしたところ、その中の一人の女性からぶつかったと言いがかりをつけられ、同グループの複数人から殴りかかられました。同氏は逃げようとしたのですが、同グループに後を追いかけてさらに殴られ、負傷するに至りました。

さらには10月5日の夕方、マンハッタンのコリアタウンを日本人女性が歩いていたところ、複数人から上着の内ポケットを探られて貴重品を盗まれる事件が発生しました。被害者は軽傷で済んだものの、ATMにて自身の銀行口座から現金が引き出されました。

## 2. 大統領選に向けたNY市警察(NYPD)の対応

大統領選前後に抗議デモが活発化する可能性に備え、NYPDが警戒を強めています。

ダーモット・シエイ警察委員長は「今年の選挙は近年で最も激戦となり、勝敗は数週間決定されない可能性が高い」と長期的な警戒の必要性について述べています。

警備の強化に伴い、警察官と市民の間の緊張が高まることも懸念されています。NYPDは今年、ジョージ・フロイド氏死亡事件をきっかけに始まった抗議デモの参加者と、たびたび衝突を繰り返しました。これまでも、参加者に向かって警察車両を発進させたり、催涙スプレーを浴びせかけたり、覆面パトカーに突然連れ込むなどの問題動画がSNSで拡散されています。

## 3. おわりに

NY市内では、いまだに閉まっている店舗も多く、また、オフィスもテレワークに切り替えている人がほとんどで、マンハッタンの中心街でも人が少ない状況です。また、ホームレスも増えていて、停車中の車に物乞いする人も目立っています。アジア人に対して新型コロナウイルス蔓延への怒りを感じている人による暴言や暴力も報告されており、NYで暮らすアジア人にとって緊張感の高い状況が続いています。

トランプ大統領率いる共和党が新型コロナウイルス対策よりも経済を優先させる政策をとっており、党による政策の違いから、NYのように民主党議員が知事を務める州では新型コロナウイルス対策を厳しく行う傾向があります。NY州では感染者が急激に拡大したこともあり、3月下旬にロックダウンを実施しました。その影響によって経済的な回復が遅れており、経済的に困窮している層が増えたことから治安が悪化していると言われていています。米国全体の失業率は4月に14.7%を記録しましたが、その後徐々に改善されており、9月は7.9%まで低下しました。一方、NY州の失業率は12.5%と米国全土でも最悪レベルにあり、NY市に限っては16.0%と非常に高い水準となっています。

当面の間は、不要不急および夜間の外出を控えるなど、各人がこれまで以上に自らの安全確保に細心の注意を払いながら生活していく必要があります。

【ニューヨーク駐在員事務所 飯塚 藤郎】

## NYライフ

### － ストーム・キング・アートセンター －

マンハッタンから車で1時間半程のNY州郊外にあるストーム・キング・アートセンター(Storm King Art Center)は、広大な敷地に数々の近代彫刻が並ぶ、ユニークな屋外美術館です。その敷地面積は500エーカーにもなり、美術作品が楽しめるだけでなくピクニックやハイキングも楽しめる、人気のスポットです。



1960年に、当初は絵画を中心とした美術館として創立されましたが、徐々に彫刻を風景の中に直接配置するようになり、現在では全ての作品が周囲の環境や遠景を考慮して置かれているそうです。

近代彫刻が好きな方はもちろん、一つ一つ作品をゆっくりと見て楽しむこともできますが、そうでなくても自然の中に立つ様々な形や色の彫刻は見ていて面白いものです。遠くから見ると周囲の自然と一体となって美しい景色を造り出し、近くで角度を変えて眺めるとまた違う姿が見え、屋内の美術館では体験できない楽しみ方ができました。近くに寄って写真を撮ったり、触ったり乗ったりできる作品もあり、家族連れの姿も多く見られました。敷地内には食事ができるピクニックエリアもあり、ランチを持ってきて1日中過ごすことができそうです。



元々敷地が広いことに加え、現在(2020年10月)は入場を事前予約制としていることもあって、周囲の人との距離を気にする必要は全くありません。屋内展示場等一部閉鎖されている施設もありますが、ピクニックエリアやトイレも清潔に保たれ、サニタイザーが設置されるなどコロナウイルスへの対策もされており、安心して過ごすことができました。



<住所>

1 Museum Road, New Windsor, NY 12553

<営業時間>

水曜日-月曜日(火曜日定休)

※シーズンによって営業時間が異なるので、HPを要確認。

【ニューヨーク駐在員事務所 菱沼 いずみ】



## 米国マーケットレポート（10月）

### ○マーケット情報

| 市場 | 指標        | 10月末      | 9月末       | 月間騰落額     | 月間騰落率  |
|----|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 株式 | NYダウ      | 26,501.60 | 27,781.70 | ▲1,280.10 | ▲4.6%  |
|    | ナスダック     | 10,911.59 | 11,167.51 | ▲255.92   | ▲2.3%  |
| 債券 | 10年債利回り   | 0.87      | 0.68      | +0.19     | +27.7% |
| 為替 | ドル/円      | 104.66    | 105.48    | ▲0.82     | ▲0.8%  |
|    | ユーロ/ドル    | 1.16      | 1.17      | ▲0.01     | ▲0.6%  |
| 商品 | 原油先物(WTI) | 35.79     | 40.22     | ▲4.43     | ▲11.0% |
|    | 金先物       | 1,879.90  | 1,887.50  | ▲7.60     | ▲0.4%  |

出所: Bloomberg

#### 【株式市場】上昇基調も、下旬は欧州のコロナ感染再拡大等を受け下落

中国の景気改善期待や米国での追加景気支援策を巡る協議の進展期待から中旬にかけて上昇基調となった。しかし、その後は、欧州における新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて行動制限を再導入する動きが広がったことや、米国の追加景気支援策の協議難航が伝わったことなどを背景に下落基調となった。

#### 【債券市場】米国10年債利回りは前月比上昇

長期金利は、上旬は、トランプ米大統領の退院見通しが伝わり米政権運営の不透明感が後退したことや、米サービス業景況感の改善などを背景に、中旬には、米小売売上高の上振れや、米経済対策の協議の進展期待などから、さらには下旬には、感染再拡大や米経済対策の合意期待の剥落、米経済指標の上振れなどが交錯するなかで上昇した。

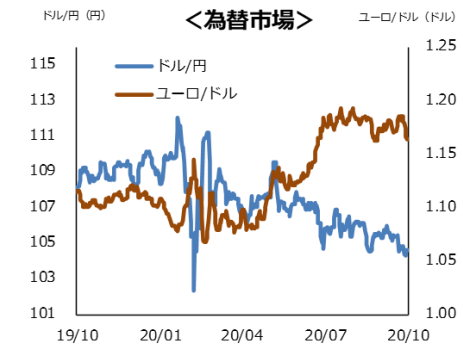
#### 【為替市場】ドルは対円で下落

ドルは対円で下落した。上旬は、トランプ米大統領の退院見通しが伝えられたことや、米経済対策への期待などから上昇したが、下旬には、欧米の感染再拡大や、米経済対策の合意期待の剥落、リスク回避姿勢などから下落した。ユーロは対ドルで下落した。

#### 【商品市場】新型コロナ再拡大を受け、原油価格は下落

原油先物(WTI)は下落した。欧州と米国での新型コロナウイルス感染再拡大で燃料消費が減るとの懸念が強まった。需要低下と供給拡大への懸念を背景に、原油価格は2ヵ月連続での下落となった。

### ○米国市場の概況



## ニュース一覧

(2020年10月のニュースを抜粋、日付は Bloomberg 掲載日であり、あくまで参考となります)

### ●経済（発表順）

- ・ISM 製造業景況指数:9月は55.4(予想56.5)に低下(10/1)
- ・貿易収支:8月は▲671億ドルと2006年以来の大きさ(予想▲662億ドル)(10/6)
- ・非農業部門雇用者数:9月雇用者数66.1万人増(予想85.9万人増)(10/2)
- ・失業率:9月7.9%(前月8.4%)11.1%(10/2)
- ・コアCPI(除食料・エネ):9月は前年比+0.2%、前年同月比+1.7%(10/13)
- ・鉱工業生産:9月は前月比▲0.6%(予想+0.5%)(10/16)
- ・小売売上高:9月は前月比+1.9%(予想+0.8%)(10/16)
- ・財政赤字:2020会計年度は過去最高の3.1兆ドル(10/16)
- ・住宅着工件数:9月は142万戸(予想147万戸)(10/20)
- ・中古住宅販売件数:9月は654万戸(予想630万戸)-前月比+9.4%(10/22)
- ・コンファレンス消費者信頼感指数:10月は100.9と予想外の低下(予想102.0)(10/27)

### ●金融政策（米国・欧州）

- ・パウエル FRB 議長:「景気対策『過剰となるリスク』、不足するリスクより小さい」「十分な政府支援なければ米景気回復は弱まる」(10/6)
- ・ジョージ カンザスシティ連銀総裁:「FRBは債券購入で一段の透明性を」(10/8)
- ・カシュカリ ミネアポリス連銀総裁:「米景気回復は足踏み。追加の財政支援が不可欠」(10/11)
- ・ブロード セントルイス連銀総裁:「(労働市場の回復を楽観し)米失業率は急速な低下も」(10/16)
- ・エバンス シカゴ連銀総裁:「長期金利、FRB資産購入による引下げ余地小さい」(10/20)
- ・ブレイナー FRB 理事:「追加経済対策の合意不成立は主要なリスク」(10/21)
- ・ラガルド ECB 総裁:「(政策発表後)次回の会合で政策手段を再調整する必要がある」、「ユーロ圏の景気回復は予想以上に急速に勢いを失いつつある」(10/29)
- ・FRB:メインストリートプログラムの融資額下限を10万ドルに下げ(10/30)

### ●政治（米国）

- ・トランプ大統領:自身と夫人がコロナ陽性判明(10/2)
- ・トランプ大統領:「新型コロナウイルスから完全に回復し、感染を広げる恐れはなくなった。大規模な選挙集会を再開する意向だ。」(10/11)
- ・トランプ大統領:オンラインによる第2回大統領候補討論会への出席を拒否、10/22の第3回には出席する。(10/15)
- ・トランプ大統領・バイデン前副大統領:汚職やコロナ、納税申告書巡り激しい論戦(10/22)
- ・バレット氏:米最高裁判事にトランプ大統領指名の保守派の同氏が承認される(10/26)

(出所:各種新聞、Bloomberg 等)